

理科(物理・化学・生物・地学) 関西大学 全学日程 (2 / 2実施)

<全体分析>

試験時間 1科目選択で75分
もしくは2科目4問選択で100分

解答形式

空欄補充・選択・記述・論述・計算

分量・難易(前年比較)

分量(減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易(易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

大問数は昨年と同じ3題であるが、設問数が増加し、論述量が大幅に増加した。

その他トピックス

特になし

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[I]	空欄補充 選択 記述 論述	個体群 細胞	生物	(A)問3 伝染病に感染しやすくなる, などの解答も可だろう。	標準
[II]	空欄補充 選択 記述 論述 計算	視覚 タンパク質 恒常性	生物・ 生物 基礎	(B)問3(10) 5回転するには, のべ $360 \times 5 = 1800^\circ$ 回転する必要がある, 1残基分で 100° 回転することから考える。 問5(1)(ii) A・CはBに比べて血糖量が低下しにくいことから糖尿病患者であり, Cではインスリンがほとんど分泌されていないことから考える。	標準
[III]	空欄補充 選択 記述 論述 計算	遺伝子 異化	生物	(A)問3(ii) 形質転換体Tは図1のプラスミドを取り込んでいるので, ウラシルの合成ができ, AbAに対する抵抗性もあるが, 5-FOAが含まれる培地では致死となる。 (B)問3 下線部①に補酵素が示されているので, 補酵素についても書いた方がよいだろう。	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

基本的知識を確実に学習することが大切である。空欄補充問題が多いので、生物学用語はしっかり確認しておこう。遺伝子やタンパク質に関する分野は毎年出題されるので、しっかり対策を組んでおこう。また、計算問題もいろいろなタイプを練習しておこう。